

無人地帯での補助者を配置しない目視外飛行 飛行許可・承認申請の申請書記載例 (飛行経路が特定されている場合)

申請書の記載例を示しますが、これはあくまでも記載例ですので、申請者様が飛行の内容に応じて個別に精査していただき、必要な資料を作成した上で提出してください。

また、申請書の案が出来上がりましたら、以下の連絡先にメールにて送付いただければ、内容を確認した上で申請者様と調整させていただきます。

最終的に調整後の申請書を提出していただきます。

【申請書案の提出先】

東京航空局 保安部 運用課 無人航空機審査担当

メールアドレス : cab-emujin-daihyo@mlit.go.jp

大阪航空局 保安部 運用課 無人航空機審査担当

メールアドレス : cab-wmujin-daihyo@mlit.go.jp

(様式1)

申請書類を作成した日付を記載してください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

無人航空機の飛行に関する許可・承認申請書 (カテゴリーII飛行)

新規 更新^{※1} 変更^{※2}

本記載例様式1の最後尾に記載されている※1及び※2の注記に従って使い分けてください。

〇〇航空局長 殿

東京航空局長又は大阪航空局長のいずれかを記載してください。

氏名又は名称 株式会社〇〇〇〇
法人の場合は代表者の氏名 〇〇課長 航空 太郎
住所 東京都〇〇区〇〇

申請内容について連絡をすることがありますので、アドレス及び電話番号を記載してください。

(連絡先) TEL:03-****-**** Mail:***@****

航空法(昭和27年法律第231号)第132条の85第2項及び第4項第2号の規定による許可及び同法第132条の86第3項及び第5項第2号の規定による承認を受けたので、下記のとおり申請します。

飛行の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 業務	<input checked="" type="checkbox"/> 空撮	<input type="checkbox"/> 報道取材	<input type="checkbox"/> 警備	<input type="checkbox"/> 農林水産業
	<input type="checkbox"/> 趣味	<input checked="" type="checkbox"/> 測量	<input type="checkbox"/> 環境調査	<input type="checkbox"/> 設備メンテナンス	
	<input type="checkbox"/> 研究開発	<input type="checkbox"/> インフラ点検・保守	<input type="checkbox"/> 資材管理	<input type="checkbox"/> 輸送・宅配	
	<input type="checkbox"/> その他 ()	飛行の目的が「趣味」「研究開発」の場合は、飛行の経路の特定が必要です。			
立入管理措置	<input checked="" type="checkbox"/> 補助者の配置	<input type="checkbox"/> 立入管理区画の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 立入禁止区画の設定	<input type="checkbox"/> その他 ()	
飛行の日時 ^{※3}	自:令和7年3月24日以降の許可・承認を受けた日 至:令和7年3月31日				
飛行の経路 ^{※4} (飛行の場所)	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番 (詳細は別添資料1のとおり)				
飛行の高度	地表等からの高度	100m未満	海拔高度	— m	
申請事項及び	飛行禁止空域の飛行	150mまでの高さで飛行する場合は「150m未満」と記載するか、150m未満の具体的な高度を記載ください。			
	(第132条の85関係)	東京・大阪航空局長あて申請の場合は記載しないでください。			

「補助者の配置」「立入管理区画の設定」「立入禁止区画の設定」のいずれか若しくは複数の体制を実施してください。

飛行させる場所を具体的に記載してください。複数箇所ある場合は、全て記載ください。

150mまでの高さで飛行する場合は「150m未満」と記載するか、150m未満の具体的な高度を記載ください。

東京・大阪航空局長あて申請の場合は記載しないでください。

理由	しくは外側水平表面の上空の空域又は航空機の離陸及び着陸の安全を確保するために必要なものとして国土交通大臣が告示で定める空域（空港等名称） <input type="checkbox"/> 国土交通省、防衛省、警察庁、都道府県警察又は地方公共団体の消防機関その他の関係機関の使用する航空機のうち捜索、救助その他の緊急用務を行う航空機の飛行の安全を確保する必要があるものとして国土交通大臣が指定する空域 <input type="checkbox"/> 地表又は水面から 150m以上の高さの空域（地上又は水上の物件から 30m以内の空域を除く。） <input checked="" type="checkbox"/> 人又は家屋の密集している地域の上空					
	【飛行禁止空域を飛行させる理由】 飛行の目的のとおり。					
飛行の方法 (第 132 条の 86 関係)	<input type="checkbox"/> 夜間飛行 <input type="checkbox"/> 目視外飛行 <input checked="" type="checkbox"/> 人又は物件から 30m以上の距離 <input checked="" type="checkbox"/> 催し場所上空の飛行 <input type="checkbox"/> 危険物の輸送 <input type="checkbox"/> 物件投下 許可や承認を要する事項を選択してください。 複数該当する場合は複数チェック					
	【第 132 条の 86 第 2 項第 1 号から第 6 号までに掲げる方法によらずに飛行させる理由】 飛行の目的のとおり。					
無人航空機の登録記号又は試験飛行を行う場合の届出番号	登録記号等	JU*****				
	<input checked="" type="checkbox"/> 別添資料のとおり。 <input type="checkbox"/> 変更申請であって、かつ、 複数機の場合は、「様式 2 のとおり」又は「別添 ○○ のとおり」とご記載ください。					
無人航空機の機体認証書番号又は無人航空機の機能及び性能に関する事項	機体認証	変更申請であって、かつ、前回提出した書類の内容から変更がない場合は、対象となる書類は添付不要です。 新規又は更新申請の場合は、「別添資料のとおり」にチェックをし、対象となる書類を提出してください。変更申請であって、かつ、前回提出した書類の内容から変更がない場合は、「変更申請であって、かつ、左記事項に変更がない。」にチェックをしてください。				
	型式認証					
<input checked="" type="checkbox"/> 別添資料のとおり。 <input type="checkbox"/> 申請する飛行の内容が使用条件等指定書又は無人航空機飛行規程の範囲内であることを確認した。*5 <input type="checkbox"/> 変更申請であって、かつ、左記事項に変更がない。						
無人航空機を飛行させる者の無人航空機操縦者技能証明書番号又は無人航空機の飛行経歴並びに無人航空機を飛行させるた	無人航空機を飛行させる者	別添資料 3 (無人航空機を飛行させる者一覽) のとおり				
	技能	技能証明書番号				
		区分	<input type="checkbox"/> 一等		<input type="checkbox"/> 二等	
		限 種類				

めに必要な知識及び能力 に関する事項	証 明 ※6	定 事 項	総重量							
			飛行の 方法							
			<input checked="" type="checkbox"/> 別添資料のとおり※7。 <input type="checkbox"/> 申請する飛行の内容が区分及び限定事項の範囲内であることを確認した※6。 <input type="checkbox"/> 変更申請であって、かつ、左記事項に変更がない。							
無人航空機を飛行させる 際の安全を確保するため に必要な体制に関する事 項				<input type="checkbox"/> 航空局標準 <input type="checkbox"/> 航空局ホー ける飛行マニ 団体等名 飛行マニ <input type="checkbox"/> リスク評価ガ ンに基づき作成した飛行マニュアル（別 添）を使用する。 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の飛行マニュアル（別添）を使用する。 <input type="checkbox"/> 変更申請であって、かつ、左記事項に変更がない。						
				航空局標準マニュアル 01 及び審査要領 4-3-2、5-4、飛行マニュアルの記載について（補足）を参考に作成のうえ、提出してください。 ※飛行マニュアルの記載について（補足）は下記 URL を確認してください。 https://www.mlit.go.jp/common/001260188.pdf						
その他参考となる事項				【変更又は更新申請に関する現に有効な許可等の情報】 許可承認番号：○空運航第○○号 許可承認日： 令和○年○月○日 ※許可承認書の写しを添付すること。						
				【第三者賠償責任保険】 <input checked="" type="checkbox"/> 加入している（ <input checked="" type="checkbox"/> 文 保険会社名：○○ 商 品 名：ドローン（ドローン）保険 補償金額：（対人）1億円 （対物）1億円 <input type="checkbox"/> 加入していない → 賠償能力 <input type="checkbox"/> 有 内容（ ） <input type="checkbox"/> 無						
			変更又は更新申請に限り、こちらへ現に有効な情報をご記載し、写しを添付してください。新規申請の場合は、過去に得ていた許可書承認番号等の記載は不要です。写しの添付も不要です。							

	<p>【空港設置管理者等又は空域を管轄する関係機関との調整結果（航空法第 132 条の 85 第 1 項第 1 号に掲げる空域における飛行に限る。）】</p> <p><input type="checkbox"/> 空港設置管理者等</p> <p>調整機関名： 調整結果：</p> <p><input type="checkbox"/> 空域を管轄する関係機関</p> <p>調整機関名： 調整結果：</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>各都道府県を管轄する空港事務所は以下をご確認ください。 申請先：https://www.mlit.go.jp/common/001110211.pdf 管轄する空港事務所：https://www.mlit.go.jp/common/001515201.pdf</p> </div> <p>【催しの主催者等との調整結果（催し場所上空の飛行に限る。）】</p> <p>催し名称： 主催者等名： 調整結果：</p>
備 考	<p>【緊急連絡先】</p> <p>担当者：○○ ○○</p> <p>電話番号：080-****-****</p>

- ※ 1 更新申請とは、許可等の期間の更新を受けようとする場合の申請。
- ※ 2 変更申請とは、許可等を取得した後に「無人航空機の登録記号又は試験飛行を行う場合の届出番号」、「無人航空機の機体認証書番号又は無人航空機の機能及び性能に関する事項」、「無人航空機を飛行させる者の無人航空機操縦者技能証明書番号又は無人航空機の飛行経歴並びに無人航空機を飛行させるために必要な知識及び能力に関する事項」又は「無人航空機を飛行させる際の安全を確保するために必要な体制に関する事項」の内容の一部を変更する場合の申請。
- ※ 3 次の飛行を行う場合は、飛行の日時を特定し記載すること。それ以外の飛行であって飛行の日時が特定できない場合には、期間及び時間帯を記載すること。
 - ・人又は家屋の密集している地域の上空で夜間における目視外飛行
 - ・催し場所の上空における飛行
- ※ 4 次の飛行を行う場合は、飛行の経路を特定し記載すること。それ以外の飛行であって飛行の経路を特定できない場合には、飛行が想定される範囲を記載すること。

- ・ 航空機の離陸及び着陸が頻繁に実施される空港等で安全かつ円滑な航空交通の確保を図る必要があるものとして国土交通大臣が告示で定めるものの周辺の空域であって、当該空港等及びその上空の空域における航空交通の安全を確保するために必要なものとして国土交通大臣が告示で定める空域、その他空港等における進入表面等の上空の空域又は航空機の離陸及び着陸の安全を確保するために必要なものとして国土交通大臣が告示で定める空域における飛行
- ・ 国土交通省、防衛省、警察庁、都道府県警察又は地方公共団体の消防機関その他の関係機関の使用する航空機のうち捜索、救助その他の緊急用務を行う航空機の飛行の安全を確保する必要があるものとして国土交通大臣が指定する空域における飛行
- ・ 地表又は水面から 150m以上の高さの空域（地上又は水上の物件から 30m以内の空域を除く。）における飛行
- ・ 人又は家屋の密集している地域の上空における夜間飛行
- ・ 夜間における目視外飛行
- ・ 補助者を配置しない目視外飛行
- ・ 催し場所の上空の飛行
- ・ 趣味目的での飛行
- ・ 研究開発目的での飛行

※5 機体認証書番号及び型式認証書番号の項目については、これらを有している場合にのみ記載する。その場合において（様式2）の添付を省略することができる。ただし、この場合においては、申請する飛行の内容が使用条件等指定書又は無人航空機飛行規程の範囲内であることを確認すること。

※6 無人航空機操縦者技能証明の項目については、有している場合にのみ記載する。その場合において（様式3）の添付を省略することができる。ただし、この場合においては、申請する飛行の内容が区分及び限定事項の範囲内であることを確認すること。なお、総重量は最大離陸重量とする。

※7 航空局ホームページに掲載されている団体等が技能認証を行う場合は、当該認証を証する書類の写しを添付すること。なお、当該写しは、発行した団体名、操縦者の氏名、技能の確認日、認証された飛行形態、無人航空機の種類が記載されたものであることに留意すること。

(様式2)

無人航空機の機能・性能に関する基準適合確認書

申請前にご使用になられる機体の登録記号並びにその有効期間について必ずご確認ください。

1. 飛行させる無人航空機に関する事項を記載すること

登録記号等	JU*****		
製造者名	〇〇株式会社	型式又は名称	JCAB-Mujin-type pro
総重量※ ¹	4.0kg		
機体認証書番号	<input type="checkbox"/> 第一種	型式認証書番号	<input type="checkbox"/> 第一種
	<input type="checkbox"/> 第二種		<input type="checkbox"/> 第二種
	<input type="checkbox"/> 申請する飛行の内容が、使用条件等指定書の範囲内であることを確認した。		

2. ホームページ掲載無人航空機の場合には、改造の有無を記載し、「改造している」場合には、4. の項を記載すること。※²

改造の有無 : 改造していない / 改造している (→4. を記載)

3. 個別の機体認証無人航空機において使用条件等指定書に定める事項を遵守しない場合又は型式認証無人航空機において無人航空機飛行規程に従わない場合

○改造していない場合

「改造していない」にチェックし、「4.」は無記入にしてください。

○改造している場合

「改造している」にチェックし、「4.」の各項目について、確認結果をチェックしてください。

4. ホームページ掲載無人航空機に該当しない場合又は型式認証無人航空機に該当しない場合に加え、機体認証無人航空機に該当しない場合又は型式認証無人航空機においては無人航空機飛行規程に従わない場合には、次の内容を確認すること。※³

確認事項		確認結果
一般	鋭利な突起物のない構造であること(構造上、必要なものを除く。)	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
	無人航空機の位置及び向きが正確に視認できる灯火又は表示等を有していること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
	無人航空機を飛行させる者が燃料又はバッテリーの状態を確認できること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
遠隔操作の機体※ ⁴	特別な操作技術又は過度な注意力を要することなく、安定した離陸及び着陸ができること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否 / <input type="checkbox"/> 該当せず
	特別な操作技術又は過度な注意力を要することなく、安定した飛行(上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング(回転翼機)、下降等)ができること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否 / <input type="checkbox"/> 該当せず
	緊急時に機体が暴走しないよう、操縦装置の主電源の切断又は同等な手段により、モーター又は発動機を停止できること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否 / <input type="checkbox"/> 該当せず

	操縦装置は、操作の誤りのおそれができる限り少ないようにしたものであること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否/ <input type="checkbox"/> 該当せず
	操縦装置により適切に無人航空機を制御できること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否/ <input type="checkbox"/> 該当せず
自動操縦の機体※5	自動操縦システムにより、安定した離陸及び着陸ができること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否/ <input type="checkbox"/> 該当せず
	自動操縦システムにより、安定した飛行（上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング（回転翼機）、下降等）ができること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否/ <input type="checkbox"/> 該当せず
	あらかじめ設定された飛行プログラムにかかわらず、常時、不具合発生時等において、無人航空機を飛行させる者が機体を安全に着陸させられるよう、強制的に操作介入ができる設計であること。	<input type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否/ <input type="checkbox"/> 該当せず

- ※1 申請を行う飛行形態の形態で確認すること。ただし、それが困難な場合には、最大離陸重量を記載すること。
- ※2 改造記録を証明する参照資料として、飛行日誌（点検・整備記録）の写しを添付することができる。
- ※3 4. の項を記載する場合には、無人航空機の運用限界（最高速度、最高到達高度、電波到達距離、飛行可能風速、最大搭載可能重量及び最大使用可能時間等）及び無人航空機を飛行させる方法（点検・整備の方法を含む。）が記載された取扱説明書等を確認したうえで記載すること。
- ※4 遠隔操作とは、プロポ等の操縦装置を活用し、空中での上昇、ホバリング、水平飛行、下降等の操作を行うことをいう。遠隔操作を行わない場合には「該当せず」を選択すること。
- ※5 自動操縦とは、当該機器に組み込まれたプログラムにより自動的に操縦を行うことをいう。自動操縦を行

(様式3)

無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書

無人航空機を飛行させる者	別添資料3 (無人航空機を飛行させる者一覧) のとおり			
無人航空機 操縦者 技能証明	技能証明書番号			
	区分			
	限定事項	種類		
		総重量※1		
	飛行の方法			
□申請する飛行の内容が区分及び限定事項の範囲内であることを確認した。				

様式3は飛行させる者全員分を作成する必要がありますが、「適/否」の確認結果が同一の者は一つの様式3に氏名を纏めて記載するか、「 」に別添資料3 (無人航空機を飛行させる者一覧) のとおりと記載しても構いません。確認結果が異なる者については様式3を飛行させる者毎に作成してください。

確認事項		確認結果
飛行経歴	無人航空機の種類別に、10時間以上の飛行経歴を有すること。 ※2	■適 / □否
知識	航空法関係法令に関する知識を有すること。	■適 / □否
	安全飛行に関する知識を有すること。 <ul style="list-style-type: none"> 飛行ルール (飛行の禁止空域、飛行の方法) 気象に関する知識 無人航空機の安全機能 (フェールセーフ機能 等) 取扱説明書等に記載された日常点検項目 自動操縦システムを装備している場合には、当該システムの構造及び取扱説明書等に記載された日常点検項目 無人航空機を飛行させる際の安全を確保するために必要な体制 飛行形態に応じた追加基準 	■適 / □否
能力	一般 飛行前に、次に掲げる確認が行えること。 <ul style="list-style-type: none"> 周囲の安全確認 (第三者の立入の有無、風速・風向等の気象 等) 燃料又はバッテリーの残量確認 通信系統及び推進系統の作動確認 	■適 / □否
	遠隔操作の機体※3 GPS等の機能を利用せず、安定した離陸及び着陸ができること。 GPS等の機能を利用せず、安定した飛行ができること。 <ul style="list-style-type: none"> 上昇 一定位置、高度を維持したホバリング (回転翼機) ホバリング状態から機首の方向を90°回転 (回転翼機) 前後移動 水平方向の飛行 (左 遠隔操作を行う場合のみ記載して下さい。) 下降 	■適 / □否
	自動操縦の機体※4 自動操縦システムにおいて、適切に飛行経路を設定できること。	■適 / □否
	飛行中に不具合が発生した際に、無人航空機を安全に着陸させることができるよう、適切に操作介入ができること。	■適 / □否

遠隔操作を行う場合のみ記載して下さい。

自動操縦を行う場合のみ記載して下さい。

※1 総重量は最大離陸重量とする。

※2 飛行経歴を証明する参照資料として、飛行日誌 (飛行記録) の写しを添付することができる。

- ※3 遠隔操作とは、プロポ等の操縦装置を活用し、空中での上昇、ホバリング、水平飛行、下降等の操作を行うことをいう。遠隔操作を行わない場合には「遠隔操作の機体」の欄の確認結果について記載は不要。
- ※4 自動操縦とは、当該機器に組み込まれたプログラムにより自動的に操縦を行うことをいう。自動操縦を行わない場合には「自動操縦の機体」の欄の確認結果について記載は不要。

上記の確認において、基準に適合していない項目がある場合には、下記の表に代替的な安全対策等を記載し、航空機の航行の安全並びに地上及び水上の人及び物件の安全が損なわれるおそれがないことを説明すること。

項目	代替的な安全対策等及び安全が損なわれるおそれがないことの説明

記載内容が多いときは、別紙として添付すること。

飛行の経路

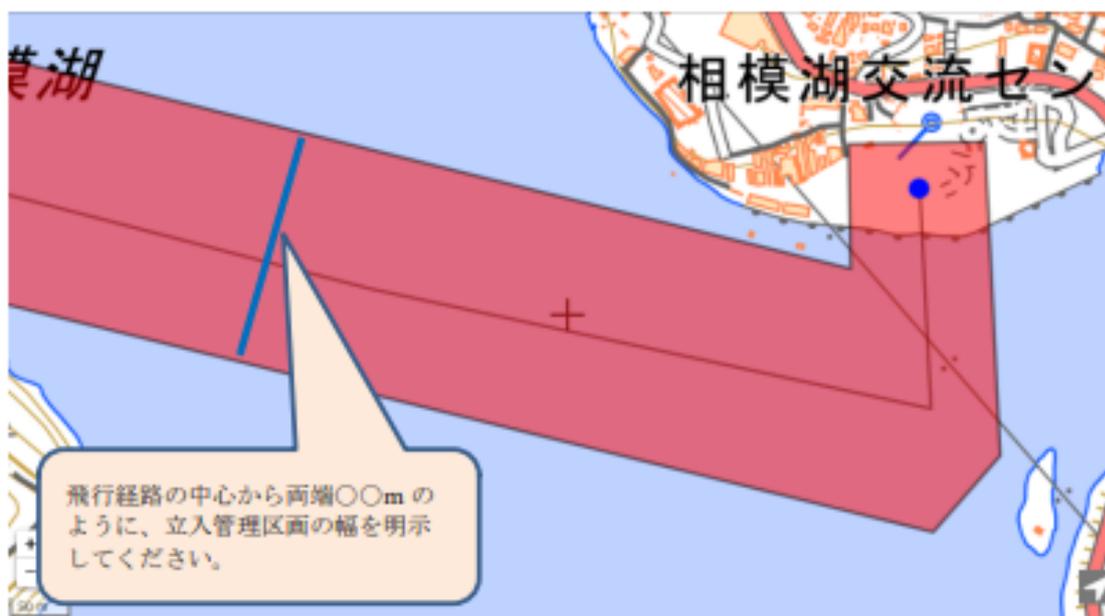
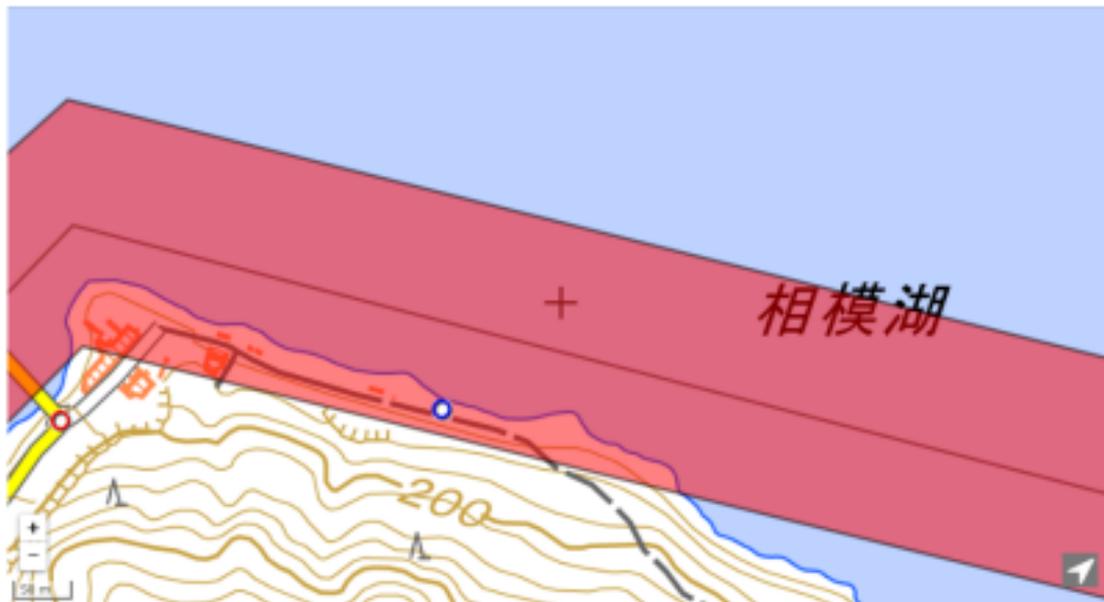
(広域図)



※〇〇橋においては、立看板を設置すると共に、必要な人数の補助者を配置し、通行車両等がないことを確認したうえで、飛行を実施する。

(詳細図)





- 立入管理区間につながる道に立看板を設置する。
- 立入管理区画の設定の算定は以下の通り。

立看板の設置を想定した時の記載

別紙にてご提出頂いても問題ありません。

立入管理区画の設定の算定においては下記事項を踏まえてください。

- 立入管理区画の設定の算定において、飛行形態や想定される飛行条件（飛行高度、時速、風速など）、当該飛行に用いる無人航空機の落下距離などを算出する必要があります。
- その際、当該飛行に用いる無人航空機の位置誤差も考慮してください。
- 上記のことを踏まえて、算出した数値などを基に当該飛行に用いる無人航空機の落下範囲と想定される最大値の数値を定めください。
- 当該飛行に用いる無人航空機の落下距離の算出時に用いた計算式（計算式上において高度、風速、時速なども明確に示すこと）、当該飛行に用いる無人航空機の位置誤差などの示した資料など根拠としたデータを必ず明示してください。なお、状況に応じて追加で説明を求める場合があります。

総重量が 25kg 以上の無人航空機の場合は必要です。

(参考様式)

別添資料

最大離陸重量 25kg 以上の無人航空機の機能・性能に関する基準適合確認書

無人航空機の登録記号：JU*****

基準	確認結果
(1) 実施しようとする飛行において想定される気象条件の他の運用条件を設定し、当該条件下において、安定した離陸、着陸及び飛行ができること。	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
(2) 機体と操縦装置との間の通信は、他の機器に悪影響を与えないこと	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
(3) 発動機、モーター又はプロペラ（ローター）が故障した後、これらの破損した部品が飛散する恐れが出来る限り少ない構造であること。	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
(4) 事故発生時にその原因調査をするための飛行諸元を記録できる機能を有すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否
(5) 次表の想定される不具合モードに対し適切なフェールセーフ機能を有している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否

想定される不具合モード		
通信系統	<ul style="list-style-type: none">電波状況の悪化による通信不通操縦装置の故障他の操縦装置との混信送受信機の故障	
推進系統	発動機の場合	<ul style="list-style-type: none">発動機の出力の低下又は停止不時回転数上昇
	電動の場合	<ul style="list-style-type: none">モーターの回転数の減少又は停止モーターの回転数上昇
電源系統	<ul style="list-style-type: none">機体の主電源消失操縦装置の主電源消失	
自動制御系統	<ul style="list-style-type: none">制御計算機の故障	

無人航空機の追加基準への適合性

無人航空機の登録記号：JU*****

○目視外飛行（補助者配置なし）

基準	適合性
5-4 (1) a) 自動操縦システムを装備し、機体に設置されたカメラ等により機体の外の様子を監視できること。	■適 / □否
	(否の場合) 代替的安全対策
5-4 (1) b) 地上において、無人航空機の位置及び異常の有無を把握できること（不具合発生時に不時着した場合を含む。）。	■適 / □否
	(否の場合) 代替的安全対策
5-4 (1) c) 不具合発生時に危機回避機能（フェールセーフ機能）が正常に作動すること。	■適 / □否
	(否の場合) 代替的安全対策

基準への適合性の確認結果を適/否で記載してください。
 確認の結果、「否」を選択した場合は代替的安全対策を記載してください。
 （「適」を選択した場合は代替的安全対策の記載は不要です。）

<p>5-4 (1) d) ア) 航空機からの視認をできるだけ容易にするため、灯火を装備すること又は飛行時に機体を認識しやすい塗色を行うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機からの視認をできるだけ容易にするための灯火を装備している。 ・(灯火を装備しない場合) 飛行時には、航空機から認識しやすい塗色を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 10px; text-align: center; width: 150px;"> 灯火の装備状況が 確認できる写真 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 10px; text-align: center; width: 150px;"> (灯火を装備しない 場合) 機体への塗色が確認 できる写真 </div> </div>
<p>5-4 (1) d) イ) 地上において、機体や地上に設置されたカメラ等により飛行経路全体において他の航空機及び無人航空機の状態を随時把握できるものであること。ただし、5-4(3)c)キ)に示す方法により航空機の確認を行う場合は、この限りでない。</p>	<p>地上において、機体や地上に設置されたカメラ等により飛行経路全体の航空機の状態を常に確認できる。(別添資料〇〇参照)</p> <p>※安全体制で航空機の確認を行う場合の例 5-4 (3) キ) に示す方法により航空機の確認を行う。(別添資料〇〇参照)</p>
<p>5-4 (1) d) ウ) 第三者に危害を加えないことを製造者等が証明した機能を有すること。ただし、5-4 (3) c) オ) に示す方法により立入管理区画を設定した場合で、次のいずれかに該当する場合は、この限りでない。</p> <p>(i) 5-4 (3) c) カ) に示す方法により第三者が立ち入らないための対策を行う場合。</p> <p>(ii) 地上において、機体や地上に設置されたカメラ等により進行方向の飛行経路の直下及びその周辺への第三者の立ち入りの有無を常に検知できる場合。</p>	<p>第三者に危害を加えないことを製造者等が証明した機能を有する。(別添資料〇〇参照)</p> <p>※安全体制で第三者の立ち入りの有無を監視する場合の例 5-4 (3) c) オ) 及びカ) に示す方法により第三者が立ち入らないための対策を行うことで安全を確保する。(別添資料〇〇参照)</p> <p>※機体や地上に設置されたカメラ等で第三者の立ち入りの有無を常に検知する場合の例 機上又は地上において、DAA システム、画像認識カメラ、地上の検知装置(防犯カメラ等)などにより進行方向の飛行経路の直下及びその周辺への第三者の立ち入りの有無を常に検知できる。(別添資料〇〇参照)</p>

<p>5-4 (1) d) エ)</p> <p>地上において、無人航空機の針路、姿勢、高度、速度及び周辺の気象状況等を把握できること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地上の操縦装置の画面において、機体の針路、姿勢、高度、速度を把握できる。 ・地上の操縦装置の画面に気象情報をリアルタイムで表示させ、風向、風速、及び天候の変化を地上で把握する。併せて、離着陸地点に温度計・気圧計・風速計を設置する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 機体の針路、姿勢、高度、速度、気象状況等がプロボやPC等に表示されることを確認できる写真 </div>
<p>5-4 (1) d) オ)</p> <p>地上において、計画上の飛行経路と飛行中の機体の位置の差を把握できること。</p>	<p>地上の操縦装置の画面において、計画上の飛行経路と飛行中の機体の位置の差を把握できる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 計画上の飛行経路と飛行中の機体の位置の差がプロボやPC等に表示されることを確認できる写真 </div>
<p>5-4 (1) d) カ)</p> <p>想定される運用により、十分な飛行実績を有すること。なお、この実績は、機体の初期故障期間を超えたものであること。</p>	<p>本機は、想定される運用により、十分な飛行実績を有することを保証する。</p> <p>想定される運用とその確認結果を以下に示す。</p> <p>また、初期故障期間は別添資料に示すとおり、過去に観測された初期故障事例の中で最長の○時間としており、出荷時検査で初期故障の特定・修正を行っている。(別添資料○○参照)</p>
<p>飛行実績に関する確認条件と結果</p> <p>下に示す事例を検証することにより、想定される運用の飛行が可能であることを確認した。なお、この検証では、今回飛行させる機体と同一の形態（機器構成等）で確認している。</p>	

		今回の想定される 運用条件	飛行実績1 (□県□市)	・・・・・・・・	飛行実績□ (□県□市)
内容		荷物配送	○ 荷物配送	× 空撮	○ 荷物配送
経路	地勢	□県□市 (山岳地帯、山越え)	× □県□市 (河川)	× □県□市 (緩やかな丘陵)	○ □県□市 (山岳地帯、山越え)
	距離	□km	○ (□km)	× (□km)	○ (□km)
	時間	□分	× (□分)	○ (□分)	○ (□分)
	高度	□m	○ (□m)	× (□m)	○ (□m)
	風速	□m/s	○ (□m/s)	× (□m/s)	○ (□m/s)
	気温	□～□℃	○ (□～□℃)	× (□～□℃)	× (□～□℃)
	降雨量	□mm/h 以下	○ (□mm/h)	○ (□mm/h)	○ (□mm/h)
飛行 実績			□回以上の離着陸 を含む□時間以上 の飛行で不具合無 し。	□回以上の離着陸 を含む□時間以上 の飛行で不具合無 し。	□回以上の離着陸 を含む□時間以上 の飛行で不具合無 し。

※ 上記の○、×について

○：飛行実績が想定される運用条件をカバーできているもの

×：飛行実績が想定される運用条件をカバーできていないもの

無人航空機を飛行させる者一覧

No.	氏名	住所
1	航空 二郎	東京都〇〇区〇〇〇 1-2-3
2	航空 三郎
3	航空 四郎
4		
5		

夜間飛行、目視外飛行、物件投下の申請を行う場合は、審査要領に定める基準に適合しているか確認の上、確認結果を記載してください。

※許可や承認を求める事項に応じて、必要な部分を抽出して（不要な部分は削除して）資料を作成してください。

(例) 訓練のため、目視外飛行を行う場合

別添資料 4

無人航空機を飛行させる者の追加基準への適合性

以下のとおり、飛行させる者は飛行経験を有しており飛行マニュアルに基づいた飛行訓練を実施している。

飛行させる者全員分を作成する必要がありますが「適/否」の確認結果が同一の者は一つの別添資料3（無人航空機を飛行させる者一覧）のとおりと記載しても構いません。確認結果が異なる者については飛行させる者毎に作成してください。

飛行させる者： 別添資料3（無人航空機を飛行させる者一覧）のとおり

○目視外飛行

基準	確認結果
モニターを見ながら、遠隔操作により、意図した飛行経路を維持しながら無人航空機を飛行させることができると及び飛行経路周辺において無人航空機を安全に着陸させることができる。	<input type="checkbox"/> 適 / <input checked="" type="checkbox"/> 否
遠隔からの異常状態の把握、状況に応じた適切な判断及びこれに基づく操作等に関し座学・実技による教育訓練を少なくとも10時間以上受けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適 / <input type="checkbox"/> 否

なお、許可等を求める飛行形態（夜間飛行、目視外飛行、物件の投下）について、過去の飛行実績及び訓練実績のない飛行形態がある場合には、下記の表に代替的な安全対策等を記載し、航空機の航行の安全並びに地上及び水上の人及び物件の安全が損なわれるおそれがないことを説明すること。

飛行形態	代替的な安全対策等及び安全が損なわれるおそれがないことの説明
<input type="checkbox"/> 夜間飛行 <input checked="" type="checkbox"/> 目視外飛行 <input type="checkbox"/> 物件の投下	<input checked="" type="checkbox"/> 訓練のための申請であり、無人航空機を飛行させる者又はその関係者の管理下であって第三者が立ち入らないよう措置された場所において行うものである。 <input type="checkbox"/> 業務のための申請であるが、飛行マニュアルに基づいた訓練を屋内又は訓練のために許可「等」を受けた場所にて実施した後に業務のための飛行を行う。 <input type="checkbox"/> その他 ※具体的な代替的な安全対策を記載すること ()

確認結果が「否」の場合は、代替的な安全対策等及び安全が損なわれるおそれがないことを説明が必要です。また、複数該当する場合は、複数にチェックをしてください。

飛行マニュアル

航空局標準マニュアル 01 及び審査要領 4-3-2、5-4、飛行マニュアルの記載について（補足）を参考に作成のうえ、提出してください。

※飛行マニュアルの記載について（補足）は下記 URL を確認してください。

<https://www.mlit.go.jp/common/001260188.pdf>